

よつ葉だより

2020年
5月25日号
No.605

地産地消～いのちと健康



くらしを守る～

よつ葉生活協同組合

2020年度よつ葉生協総代会開催の変更について

生活協同組合において総代会は、前年の事業、経営状況、活動の内容を、組合員の代表である総代役員に対して、説明報告をし、賛否を問うものです。2020年度の事業予算、活動計画を提示し、意見、承認を頂きます。一年に一度の重大な会議開催です。

予定では6月13日(土)小山市民ホールを予約していましたが、この間の新型コロナウイルス感染症の蔓延を受けまして、大きく変更せざる得ない状況になりました。

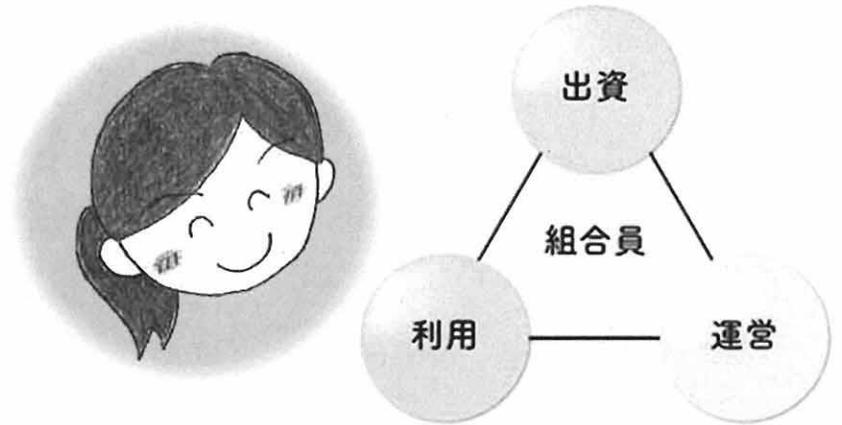
場所はよつ葉生協本部会議室になりました。例年、多くの組合員に出席と議案への意見などをいただきながら運営しておりました。

今は、新型コロナウイルス感染をいかに早く終息させるか、人の命を守る為に全てのことに優先させなければなりません

異常事態の中で、今まで実施したことのない内容で開催します。

- ・ 最少限の参加者と時短開催
参加者は、役員・新役員候補者・総会成立に必要な役務者(議長、書記、議事録署名人、議事運営委員など)
- ・ 総代に立候補された方は、原則、書面議決での出席参加とさせていただきます。後日、議案書送付の際に詳しい説明を致します。
- ・ 例年、あいこーぷふくしまとの交流を続けてきましたが、来賓の方と共に遠慮させていただきます。

組合員ひとりひとりが主人公



各県生協連や、それぞれの生協も同じような内容で開催することになっております。

感染拡大を防ぐために、あらゆる活動を縮小、中止にしています。組合員同士の交流、学習会などの活動が出来ない不自由さがありますが、よつ葉の理念、「いのちと健康 くらしを守る」ことが、一人ひとりに求められています。我が身と家族を心配しながら、医療に従事されている方々や、食は命と思いつながら、生協の事業、運営、特に配送業務に携わっている人は休むわけにはいきません。よつ葉生協では、新しい情報の収集と、感染予防対策を広げ、事業の継続に努力しております。

ステイホームは孤立しがちですが、感染を克服し、未来へつなげるステップです。仕事や住む所を失った人が多くでています。全てが我がこと。今流している涙を、無駄にしない様、家族、回りへの気遣いをしていきましょう。よつ葉生協は組合員一人ひとりの現状を受けとめ、共にこの厳しい状況を越えていきます。来年は、組合員の声の響く総代会になることを願って努力していきます。

理事会



笑顔で
手渡しできるように
今は、置配で辛抱



～産直委員会から～

3月からの外出自粛の長期化で、皆さんから多くの注文をいただいています。
代替商品や欠品により、予定されていた商品をお届けできずご不便をおかけしております。



この春の農産物について

昨秋から暖冬傾向で適度な降雨もあって生育が順調に進み、収穫が早まった野菜もありました。外出自粛で注文が増え、多いものでは4倍の量です。次の作付け分の収穫が追い付かなかったり、雹の被害や病気などで、代替商品や欠品が出たりしていますが、農家のみなさんががんばって出荷してくれています。5月に入っても、例年に近いお届けをしています。

有機バナナの欠品について

5月4日と11日からの「有機栽培バナナ」は、組合員にお届けできませんでした。ペルーから到着した後の検査で、虫が発見され、コンテナごとくん蒸処理されてしまったためです。(カイガラムシなどが発見されると、コンテナごと青酸ガスでくん蒸されます。スーパーなどのバナナはくん蒸されているのがほとんど。残留しないので毒性は確認できません)

この非常事態のなか、欠品と判断することに悩みました。商品は簡単に手に入りませんが、こんなときだからこそ組合員、特にお子さんには安心なものを食べさせたいと考え、欠品としました。



日々のお届けを支えているもの

よつ葉の産直商品をつくっているのは、2世代にわたってお取引が続いているなど、「顔が見える」生産者・業者さんばかり。現在のコロナ禍では、この関係が根っこで支えてくれています。農産物でも欠品を多く出さずにいられるのは、この関係をつないでこられたからです。

登録野菜セットをリニューアルします

7月1週のくらはでは、「有希やさいセット」「登録やさいセット」に代わる新たな野菜セット（大・中・小の3種類）のご案内を予定しています。小規模を理由にお届けが難しかった、地元の有機農家さんの野菜などお届けできるようにしていきます。

品薄の時でも、優先的に毎週お届けする登録制です。お楽しみに！

(担当理事 三輪)

種苗法の改定で農家は自家採種できなくなる？②

よつ葉だより No. 603 に続き、登録品種の自家増殖（採種）を禁止した種苗法改定についてお伝えします。

Q4 自家採種を認めていたのに、なぜ禁止に？

A4 種苗法 21 条 2 項で農家の自家増殖を例外的に認める一方で、同条 3 項では、農林水産省令で定める品種の種苗の自家増殖を禁止していました。また、農業競争力強化支援法（2017 年施行）で「独立行政法人の試験研究機関及び都道府県が有する種苗の生産に関する知見の民間事業者への提供を促進すること」と規定しました。それ以降、自家増殖が禁止される品目が徐々に増えていきます（2018 年には 387 種類）。今回の改定はこれが一律禁止（許諾制）になります。

「民間事業者」とは、種子事業をおこなう大企業（大手化学系多国籍企業）や種苗の研究開発を行う大規模メーカー等です。多くの税金と人的資源を投入して開発される種子の遺伝子情報（知見）を、民間事業者へ提供すると謳う農業競争力強化支援法が、今回の種苗法改定の後ろ盾になっていると考えられます。

むずかしいですね・・・

もともと種子は、農家の自給的必然から自家採種、保存され、利用されてきました。国や都道府県が主導して全国でさまざまな品種が育種されてきたことで、農家はその土地にあった作物をつくり、消費者は食べることができました。種苗法の改定では、登録品種の育成者権が強化されていて、農家の経営基盤が奪われかねません。

法改正で影響を受けるのは、稲、麦、大豆、イチゴ・いも類（苗）、果樹類（挿し木）などです。野菜種子は9割がF₁種子のため、自家採種に適していません。

イチゴで考えてみます

「スカイベリー」は栃木県の登録品種なので、栽培農家はすべての苗を購入しなければならず、経費の負担は農家です。同じく栃木県が育成した「とちおとめ」は登録品種でないので、植え付け用の苗は、親株として購入した株をふやすことができます。購入費用も抑えられます。

農林水産省は自家増殖を認めない理由として、「日本で開発されたブドウやイチゴなどの優良品種が海外に流出し、第三国に輸出・産地化される事例があり（中略）、国内で品種開発が滞ることも懸念されるので、より実効的に新品種を保護する法改正が必要」としています。

しかし現行の種苗法でも、第三者への譲渡は禁止されており、自家増殖を禁止する明確な理由を説明できません。一律の許諾の強制が、優良品種の海外流出の実効的な歯止めになる理由についても、農林水産省は明らかにしていません。



Q5 違反するとどうなりますか？

A5 育成者権を侵害すると懲役 10 年以下、一千万円以下の罰金が課せられます。

この改正は、国民に詳しく知らされないままです。種子は人類共通の資源との考え方が軽視され、国内農業者を守るのではなく、民間事業者に困り込まれることへの懸念があります。

(理事 三輪)

非日常を支えてくださっている方々に感謝しつつ、自宅引きこもり生活をなるべく明るく楽しもう！と、毎日子供達とワイワイ遊んでいます。

毎朝、夫の出勤前に近くの河原に行き、40分くらい家族4人で散歩してます。息子は途中からランニング。広いのでほぼ誰ともすれ違いません（笑）。

早寝早起き、よつ葉の美味しい食材のご飯をたくさん食べて、トランプやジグソーパズル、ダンスやリズムゲーム。子供達が大きくなってからこんなに家族で遊ぶことは無かったので、貴重な時間と思っています。

(栃木地区 齋藤)

家族対象の料理教室開催中です。目標は、「お魚を上手にさばいて、美味しい料理を作れるようになる」です。

気を付けているのはリラックスする時間を持つこと。日本茶を丁寧に淹れて味わい、1日3回はお茶うがい、お風呂にゆっくり入り、体を温めています。体の元気は、心の健康からです。「人生を楽しむ」をモットーにしています。

家族（大学生）が帰省中で、期間未定です。新型コロナの終息の見通しが見つからないので、不安定な日常生活ですが、よつ葉生協の「美味しく安心安全な食材や生活用品」を宅配で受け取れることに心から感謝しています。新型コロナに限らず、万一の自然災害への備えも怠らないように、心掛けています。

(宇都宮地区 西村)



おうち生活が続いています。すぐ作れるおやつレシピ（甘系&ごはん系）を理事の青木さんが紹介してくれました。ちょこっと手作り。お子さんと一緒に作るのもいいですね。

お揚げのおやつ～カリカリお揚げのおやつ。おつまみにも～

材 料（2～4人分）

油揚げ 2枚

千切りキャベツ 1/2枚分

ツナ缶 半缶

チーズ 1枚

いりごま 小さじ1

ご飯 大さじ2

だしつゆ 小さじ1

醤油 好みで少々

大人の方は

唐辛子 好みで少々

小葱 適量

1、袋に汁気を軽く切ったツナ缶、ごま、ごはん、だしつゆを入れ袋ごと揉み、ごはん＆ツナが馴染んだらキャベツとチーズを混ぜ合わせます。

2、油揚げを半分に切り、中を開き、1の具を入れて、口を楊枝で止めます。

3、トースターや、フライパンでコンガリと焼いたら完成。

（そのまま食べられる食材を

挟んでいるので、3分～5分。油揚げがコンガリと焼ければOK）

4、好みで唐辛子や薬味を添えると大人のおつまみになります。



きな粉&ごまのさくほろクッキー

かんたん！カルシウム豊富おやつ～きな粉&ごまのさくほろクッキー～

材料(各5個分)

〈きな粉クッキー〉

薄力粉 50g

きなこ 10g

砂糖 10g

塩 ひとつまみ

油 20g

水 小さじ2

〈ごまクッキー〉

薄力粉 50g

すりごま 10g

砂糖 10g

塩 ひとつまみ

油 20g

水 小さじ2

オーブンを170度に予熱しておく。

1、きな粉入り、ごま入り、それぞれの油、水以外の材料をボウルに入れてよく混ぜ合わせる。

油を入れてさらに混ぜる。全体に油が行き渡るようにサラサラになるまで混ぜる。

2、水を加え、全体に軽くまぜ、手でお好みの形に成型する。

水を加えたら混ぜすぎない方がサクサクに仕上がります。

3、170度のオーブンで15分焼く。

しっかりと冷ましたら出来上がり。

(栃木地区 青木恵美子)

【組合員さんの声】

602号（4月27日付）組合員の声の続きです。

娘の仕事先の関係者がコロナウイルスに感染したので、自宅で経過観察をしている様子を載せましたが、その後どうなったかという声をいただきましたのでお知らせします。

15日経過し、娘は元気で出勤しています。10日過ぎてから気持ちも落ち着き、友達とのやりとりも増えてきました。

幸い、会合出席者への感染はなかったようで、ホッとしました。引き続きやっていること、

- 外からの靴では直接入らず、つっかけを玄関の前に置いていく。(イタリア、スペインの急増は土足の習慣もあるとか)
- 食事は時間差で各自小分けにして食べる。
- マスクをはずして直接しゃべらない。
- 手洗い、のどがいの他に鼻うがいをする(ウイルスの増殖は、のど、鼻奥でされる)

無症状で他に感染させてしまっていないかが一番心配でした。)弱小企業故に経過観察中は欠勤扱いで、給与も減っていました。それ以上に感染症に対する考え、行動の違いは、埋めようもなく、この機に自分が望んでいたことをスタートすることにしました。新型コロナウイルスは、命と経済的基盤を奪いました。しかし、人間は生き抜く使命と希望をつくる力があると思っています。落ち着いて、油断をしないでと話し合っています。

(下野市 T・Tさん)

1月中旬頃からコロナの報道が始まり、インフルエンザと同様春ごろには落ち着くかと思いきや、状況は悪化するばかり…

本県も緊急事態宣言が発令されました。そんな中でも変わらず配送を続けて下さるよつ葉生協スタッフの皆様、ドライバーの皆様に頭が下がる想いでいっぱいです。いつもありがとうございます。一日も早く「いつもの日常」が戻る事を祈っております。

大丈夫、きっと大丈夫。3.11以降のあの辛く哀しい日々も乗り越えた私たちですから。あとほんの少しの辛抱です。

それまで一人一人が我慢して過ごしましょう。

(小山地区 M・Nさん)

いつも配達ありがとうございます。特にこの時期、たいへん助かっています。よつ葉の皆様もお身体大切になさってください。

(那須塩原地区 F・Wさん)

先日は、黄金しょうがについてお忙しい中、丁寧なご返答を頂きありがとうございます。生産者さんが病虫害を克服され、また提供して下さるのをお待ちしております。よつ葉生協の基準に沿って安心安全な食材を、いつも届けてくださり感謝しております。特にコロナの感染拡大に伴い何かしら制限の多い中、毎週の宅配に尽力されているスタッフの皆様に、御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。(佐野地区 Y・Nさん)

いつもありがとうございます。大変おいしく頂いています。また大変な時期かと思いますがよろしくお願いいたします。

(結城地区 K・Kさん)

「よつばだより」NO.602の「組合員さんの声」見ました。本当、ずっとマスクしているだけでも気が重いのに、アルコールでふきまわるのは大変なこと。一番気を付けることに重点を置いて、あとは出来る限りにしています。①外から室内に入ったら、まず手を洗うがい。②食事は話をしないで、話すときはティッシュで口をおさえて。③はしを共有しない。④自分以外の人がいるところでは必ずマスク。⑤三密をさけて行動。つまり体に入るのは口と鼻と粘膜。それをガードして、毎回出来ないけど取っ手など共有場所を気にかけて拭く感じです。

コロナ国難があって、世界と比較すると、さすがにドイツと北欧の対応と社会(国民の考え方も含め)素晴らしいと思えてならない。「責任を持った行動を」国民が自分たちで考えて行う。コロナは感染するものだから自分の行動に責任を持たないと感染してしまうし、対応して下さる医療現場の方たちの大変さ。尻ぬぐいをしてくれている。Stay Home「私たちはみんなのために」考え行動したいと思う。早く終息させるには、8割削減の努力が大切なのだ。生協さん食の土台になってくださりありがとうございます。(館林地区 S・Fさん)

いつも家まで配達して下さりとても助かっています。ほとんどスーパーに行かずに済むので、外出も減り、今の時期は特にありがたいですね。仕事でなかなか顔が合わせられないですが、今後よろしくお願いいたします。(大泉地区 K・Kさん)



改めて、配送して下さることに感謝しています。食が安心だと、心に余裕が生まれます。いつもありがとうございます。

(益子地区 Y・Sさん)

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (5月2週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	8,800
震災孤児を支援する募金 (910番)	19,300
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	9,700
合計	37,800

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側「企画商品」内の「復興支援募金」をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp

